

令和5年度 戦略的保険者機能に関する現状評価シート

医療費情報、健診情報から見る 静岡支部の現状

《医療費情報》

- ・静岡支部加入者のレセプトデータより集計分析
- ・2019～2021年度の3か年分の時系列データによる比較
- ・診療種別（入院、入院外、歯科）、疾病分類別（傷病名）、市町別、業種別（被保険者のみ）の傾向把握

《健診情報》

- ・生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果と問診結果より集計分析
- ・2019～2021年度の3か年分の時系列データによる比較
- ・検査値、リスク保有率、生活習慣等について、市町別、業種別の傾向把握

医療費情報（診療種別）

1. 適用情報

年度	事業所数	加入者数	被保険者数	被扶養者数	平均標準報酬月額
2019	62,513	1,037,284	641,719	395,565	293,132
2020	63,860	1,031,943	641,876	390,067	292,436
2021	65,183	1,032,007	648,203	383,804	294,505

2. 医療費情報

2-1. 医療費3要素（診療種別）

<総計（入院・入院外・歯科）>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2019	174,625.2	172,683.5	7,967.7	7,915.6	1.53	14,330.3
2020	170,554.6	168,979.5	7,370.7	7,327.3	1.53	15,159.9
2021	183,866.5	182,328.8	7,857.4	7,815.8	1.50	15,554.5

<入院>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2019	47,093.7	46,465.9	85.4	84.8	9.57	57,611.0
2020	45,514.2	45,024.6	80.7	80.3	9.47	59,511.8
2021	48,494.3	48,003.0	82.9	82.6	9.42	62,053.8

<入院外>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2019	109,177.3	107,949.6	6,246.9	6,203.2	1.39	12,555.0
2020	105,925.7	104,905.6	5,696.8	5,659.4	1.38	13,448.8
2021	115,429.3	114,453.2	6,092.0	6,056.7	1.38	13,749.8

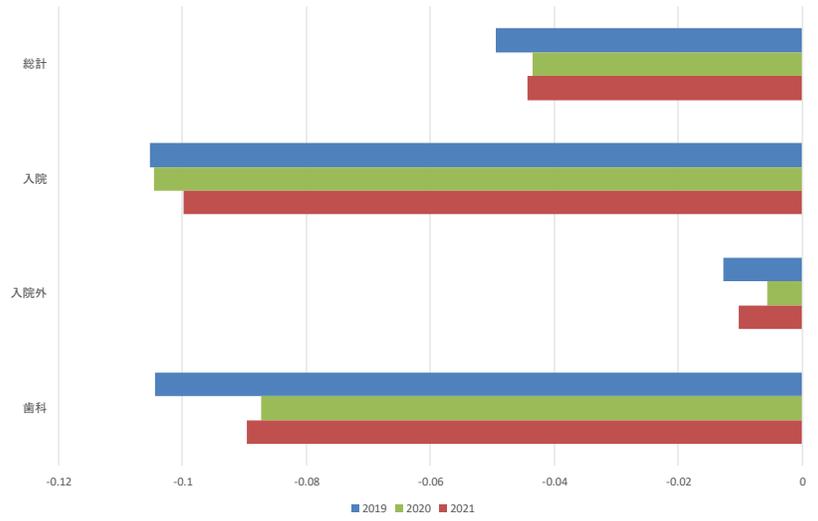
<歯科>

年度	1人当たり医療費		受診率		1件当たり日数	1日当たり医療費
		年齢調整後		年齢調整後		
2019	18,354.1	18,267.9	1,635.4	1,627.7	1.63	6,868.0
2020	19,114.7	19,049.2	1,593.2	1,587.6	1.64	7,325.4
2021	19,942.9	19,872.6	1,682.4	1,676.5	1.57	7,541.6

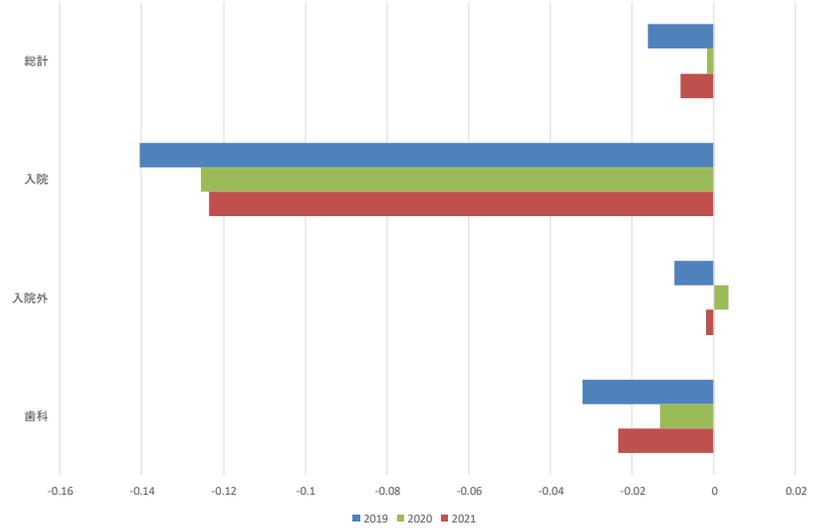
「地域差指数 - 1」とは

医療費等の地域差を表す指標として、各種指標について年齢調整し、全国平均を0として指数化したもの
 0より大きい数値の場合（プラスの場合）：全国平均より高い水準にある
 0より小さい数値の場合（マイナスの場合）：全国平均より低い水準にある

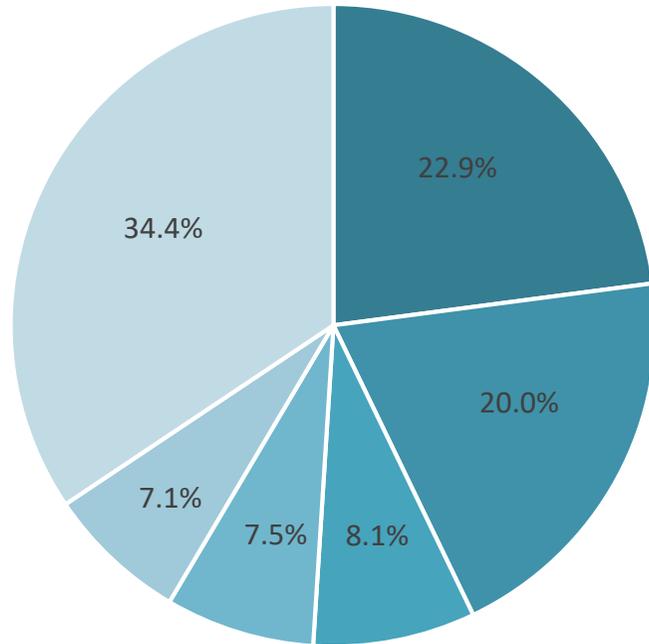
1人当たり医療費の地域差指数 - 1



受診率の地域差指数 - 1

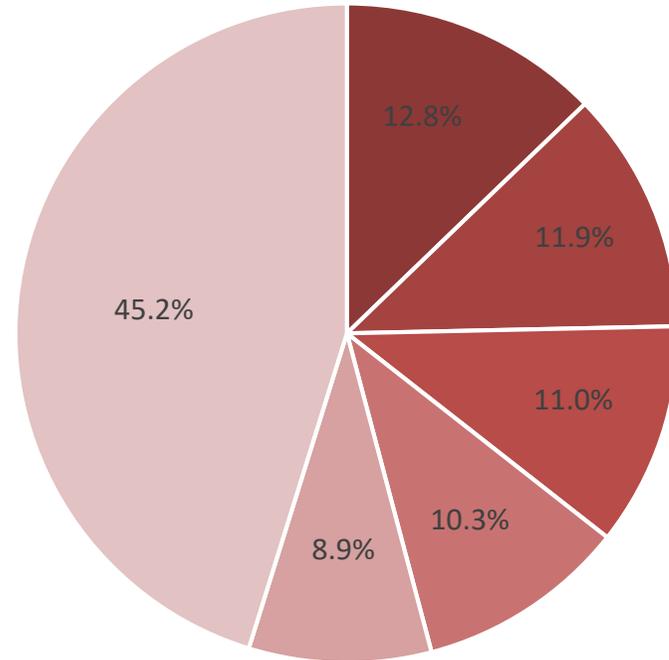


疾病分類別医療費（入院）



- 新生物
- 循環器系の疾患
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 消化器系の疾患
- 損傷，中毒及びその他の外因の影響
- その他

疾病分類別医療費（入院外）



- 内分泌，栄養及び代謝疾患
- 循環器系の疾患
- 新生物
- 呼吸器系の疾患
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- その他

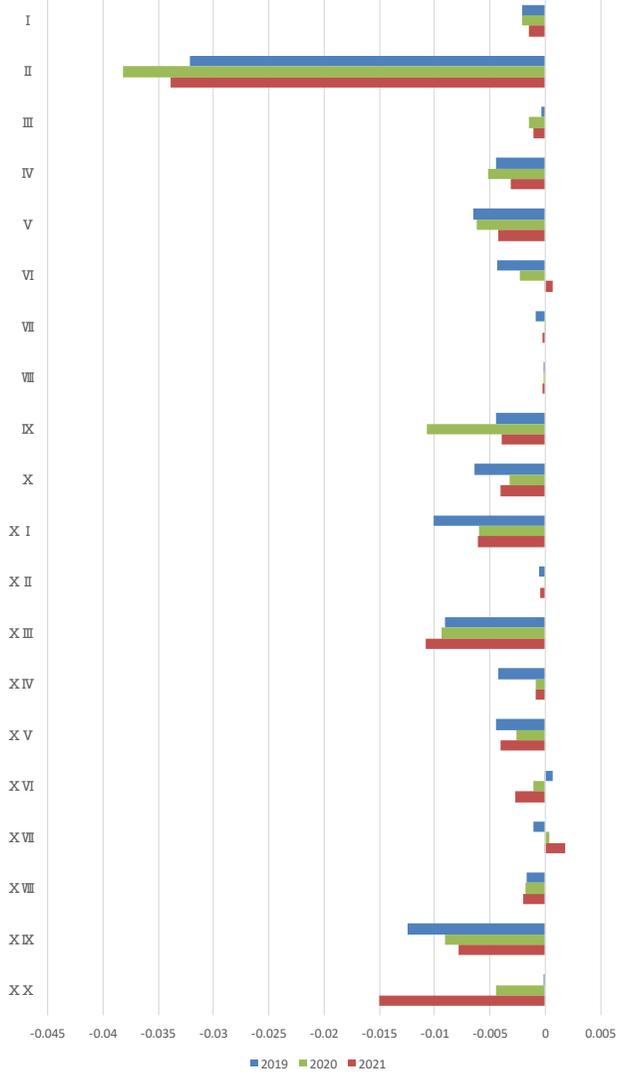
「新生物」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は、入院・入院外ともに多くの医療費がかかっている。

医療費情報 (疾病分類)

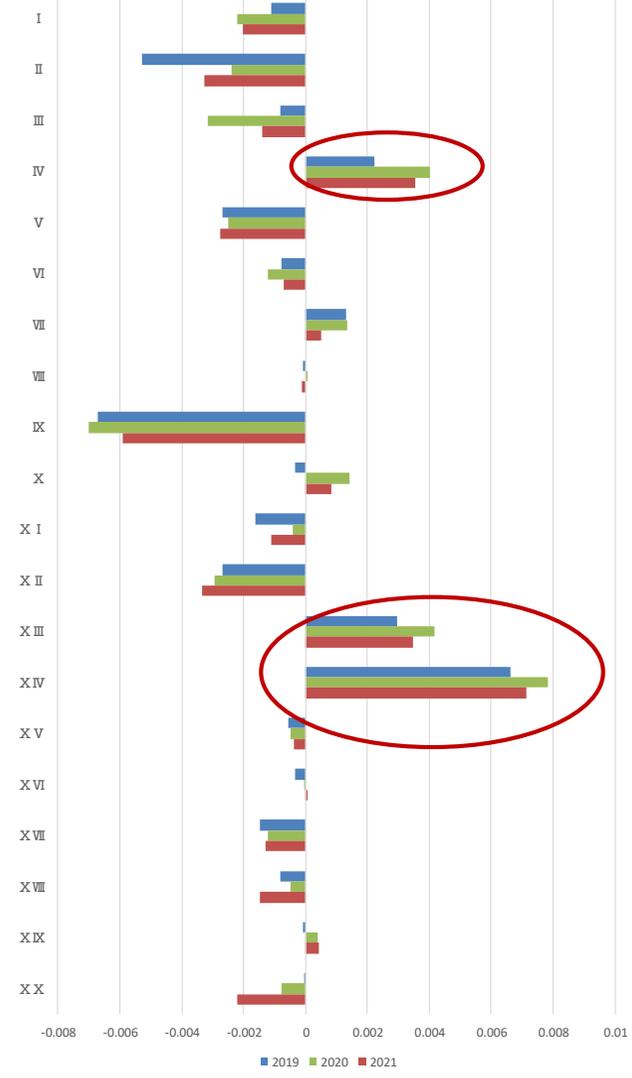
疾病分類

I	感染症及び寄生虫症
II	新生物
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機能の障害
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患
V	精神及び行動の障害
VI	神経系の疾患
VII	眼及び付属器の疾患
VIII	耳及び乳様突起の疾患
IX	循環器系の疾患
X	呼吸器系の疾患
X I	消化器系の疾患
X II	皮膚及び皮下組織の疾患
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患
X IV	腎尿路生殖器系の疾患
X V	妊娠、分娩及び産じょく
X VI	周産期に発生した病態
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響
X X	特殊目的コード

疾病分類別 1 人当たり医療費の地域差指数 - 1 の寄与度 (入院)



疾病分類別 1 人当たり医療費の地域差指数 - 1 の寄与度 (入院外)

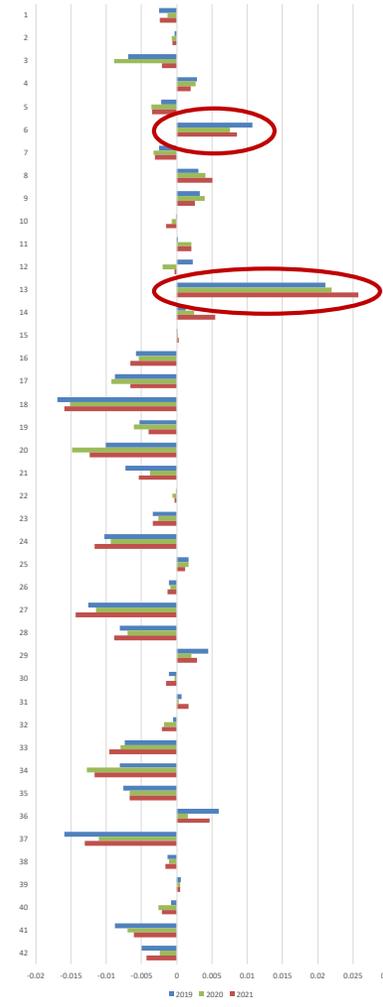


入院外のうち「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「腎尿路生殖器系の疾患」は、全国より高い水準にある。

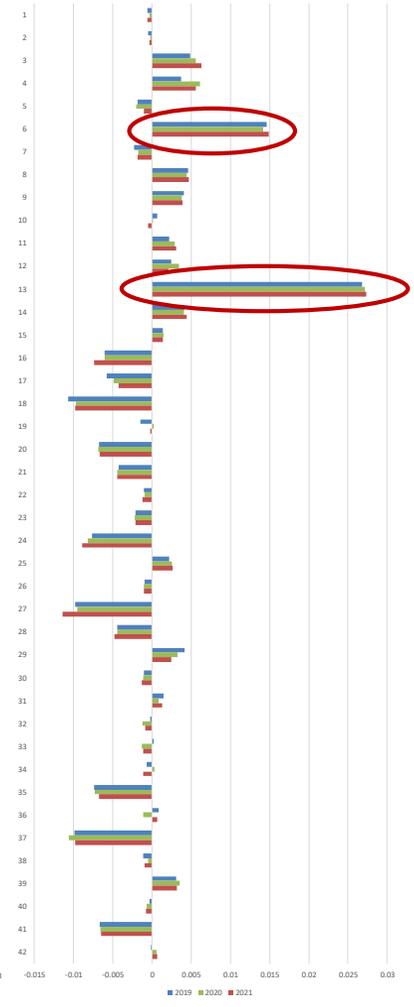
業種

1	農林水産業	22	無店舗小売業
2	鉱業、採石業、砂利採取業	23	金融・保険業
3	総合工事業	24	不動産業
4	職別工事業	25	物品賃貸業
5	設備工事業	26	学術研究機関
6	食料品・たばこ製造業	27	専門・技術サービス業
7	繊維製品製造業	28	飲食店
8	木製品・家具等製造業	29	宿泊業
9	紙製品製造業	30	対個人サービス業
10	印刷・同関連産業	31	娯楽業
11	化学工業・同類事業	32	教育・学術支援業
12	金属工業	33	医療業・保健衛生
13	機械器具製造業	34	社会保険・社会福祉・介護事業
14	その他の製造業	35	複合サービス業
15	電気・ガス・熱供給・水道業	36	職業紹介・労働者派遣業
16	情報通信業	37	その他の対事業所サービス業
17	道路貨物運送業	38	修理業
18	その他の運輸業	39	廃棄物処理業
19	卸売業	40	政治・経済・文化団体
20	飲食料品以外の小売業	41	その他のサービス業
21	飲食料品小売業	42	公務

業種別 1人当たり医療費の地域差指数 - 1の寄与度（入院）



業種別 1人当たり医療費の地域差指数 - 1の寄与度（入院外）



「食料品・たばこ製造業」、「機械器具製造業」は、入院・入院外ともに全国より高い水準にある。

「疾病分類での傾向」

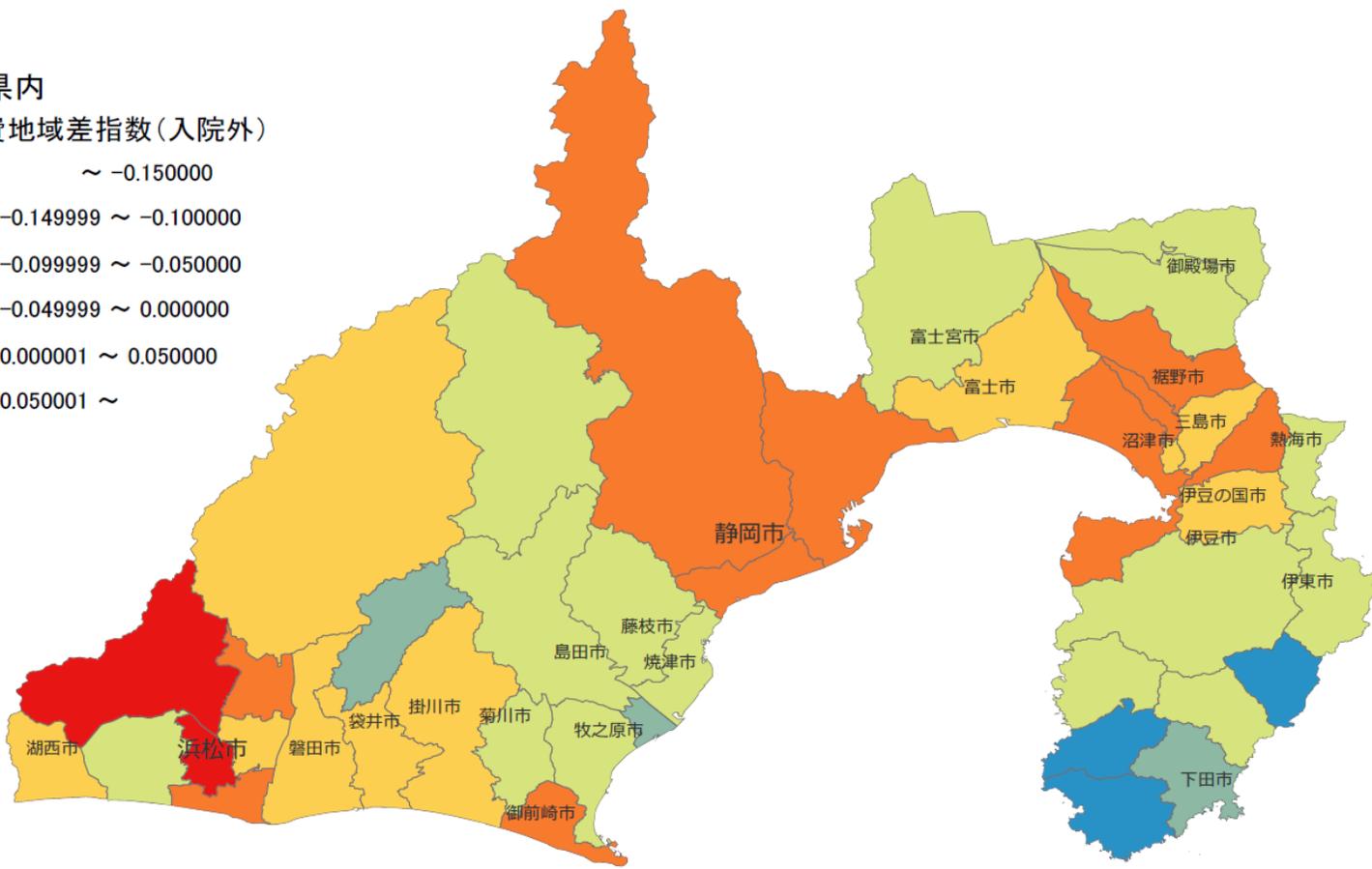
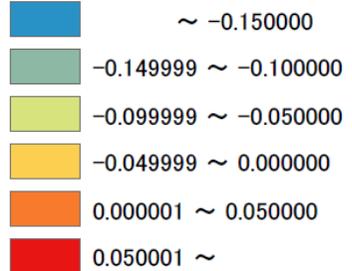
- 食料品・たばこ製造業：「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が県平均より高い傾向にある。
- 機械器具製造業：「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「消化器系の疾患」が県平均より高い傾向にある。

令和3年度 静岡県内 1人当たり医療費の地域差指数（入院外）

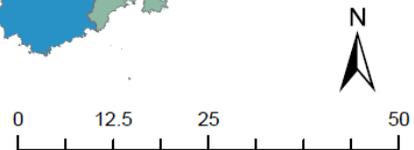
凡例

静岡県内

医療費地域差指数(入院外)



・入院の地域差指数と比較すると、全国より高い市町数が増えている。比較的都市部の地域が高い傾向にあり、医療提供体制の充実度とも関連性が推察される。



3. 健診情報

3-1. 健診受診率等

年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診データ取得率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勤労後3月以内受診率	コロナヘルス宣言事業所数
2019	61.7%	5.6%	24.7%	21.3%	10.1%	4,611
2020	61.1%	6.3%	21.6%	24.6%	12.6%	5,392
2021	64.1%	5.2%	24.6%	21.9%	12.7%	5,859

※ 「勤労後3月以内受診率」の2021年度について、レポートによる受診状況が確認できる2021年7月健診受診分（2022年1月発送分）までを集計対象としている。

3-2. 健診結果及び問診結果

年度	①メタボリックシンドロームのリスク保有率		②メタボリックリスク予備群の割合		③腹囲のリスク保有率		④血圧のリスク保有率		⑤脂質のリスク保有率	
	地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1	
2019	13.8%	▲ 0.112	12.8%	▲ 0.062	34.6%	▲ 0.064	37.6%	▲ 0.103	28.1%	▲ 0.023
2020	14.9%	▲ 0.099	12.9%	▲ 0.073	35.6%	▲ 0.065	39.5%	▲ 0.106	29.1%	▲ 0.025
2021	14.9%	▲ 0.091	12.9%	▲ 0.063	35.7%	▲ 0.055	39.9%	▲ 0.099	28.9%	▲ 0.019

年度	⑥代謝のリスク保有率		⑦喫煙者の割合		⑧BMIのリスク保有率		⑨中性脂肪のリスク保有率		⑩HDLコレステロールのリスク保有率	
	地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1	
2019	14.4%	▲ 0.046	32.3%	▲ 0.009	29.5%	▲ 0.049	19.5%	▲ 0.067	5.3%	0.004
2020	15.0%	▲ 0.025	31.4%	▲ 0.006	30.8%	▲ 0.047	20.3%	▲ 0.064	5.3%	▲ 0.024
2021	15.2%	▲ 0.020	30.7%	▲ 0.006	30.9%	▲ 0.041	19.2%	▲ 0.068	5.2%	0.007

年度	⑪体重10kg以上増加者の割合		⑫運動習慣要改善者の割合		⑬食事習慣要改善者の割合		⑭飲酒習慣要改善者の割合		⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	
	地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1		地域差指数-1	
2019	39.9%	▲ 0.036	71.2%	0.017	51.4%	▲ 0.056	13.0%	▲ 0.073	38.3%	▲ 0.053
2020	40.9%	▲ 0.034	70.7%	0.015	49.6%	▲ 0.054	13.1%	▲ 0.029	34.5%	▲ 0.058
2021	41.0%	▲ 0.035	70.1%	0.014	50.0%	▲ 0.053	12.7%	▲ 0.025	35.0%	▲ 0.052

※ 1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。

※ 2 地域差指数は年齢調整後のものである。

健診結果及び問診結果の地域差指数 - 1



- ・諸検査値、リスク保有、生活習慣の状況は全国より低い（良い）水準にある。
- ・喫煙、HDLコレステロールは全国と同レベル。
- ・運動習慣要改善者の割合が全国より高い（悪い）水準。（運動不足）

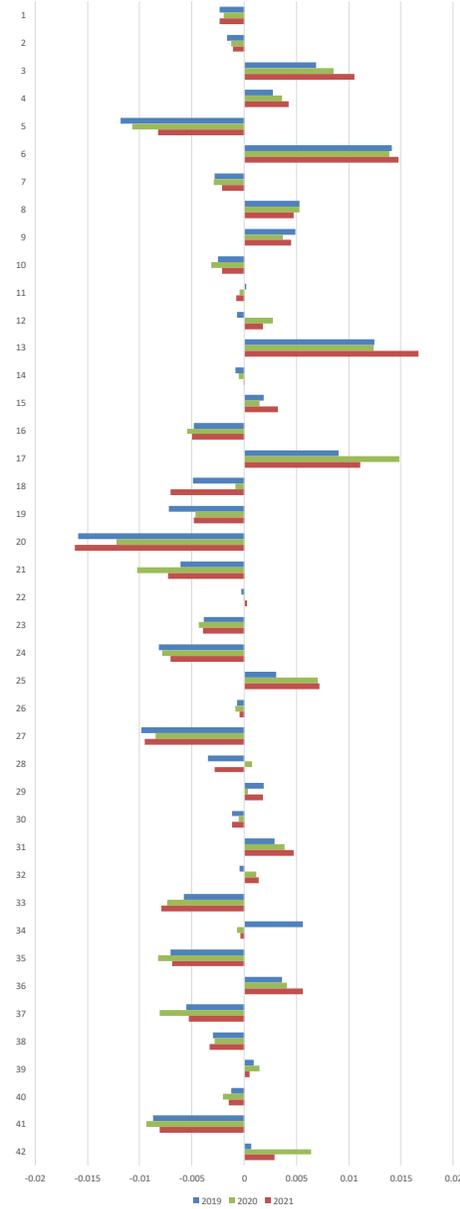
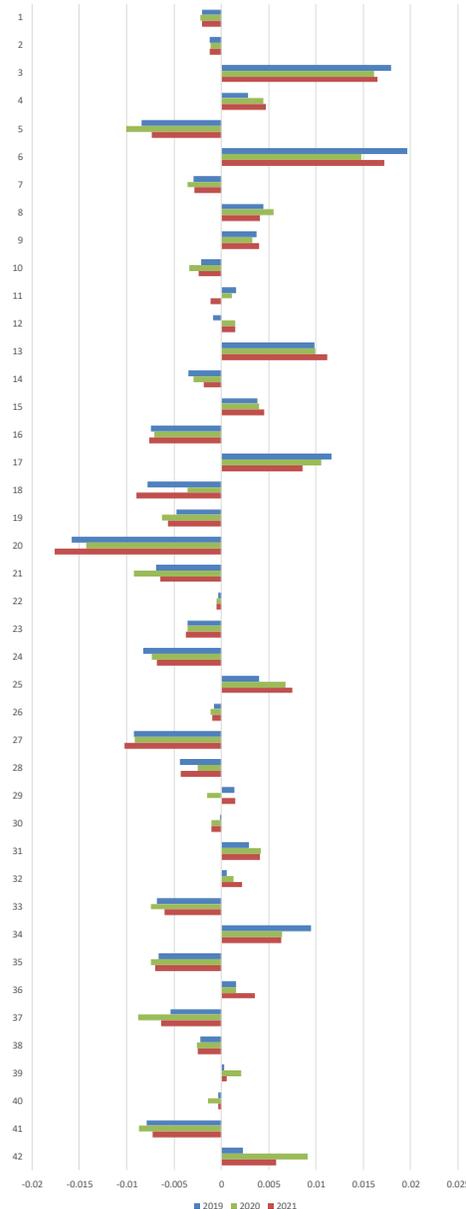
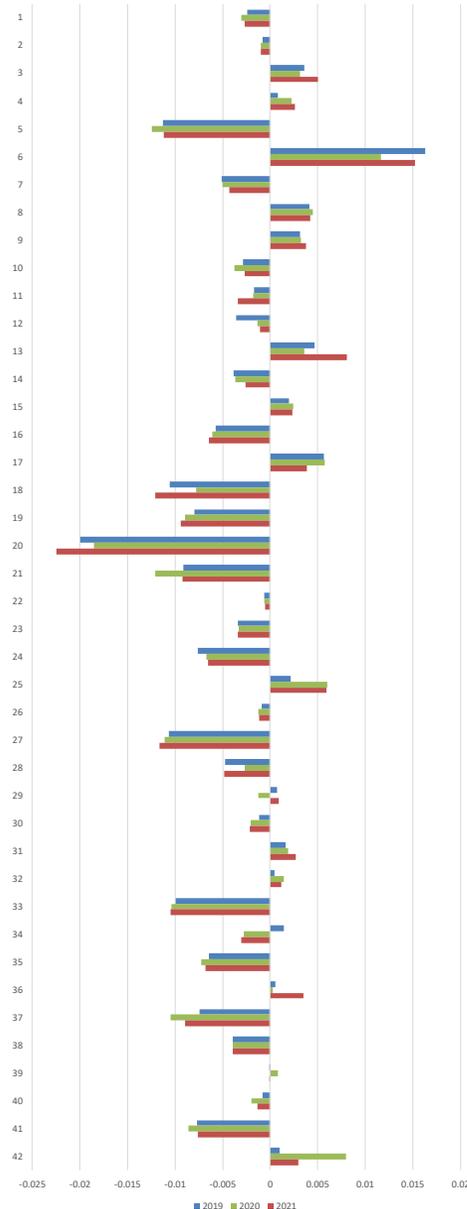
※各項目の設定基準については、15ページを参照

健診情報（業態別リスク保有率の地域差指数-1の寄与度）

血圧

脂質

代謝



総合工事業

食料品・たばこ製造業

機械器具製造業

道路貨物運送業

全国より高い傾向が出ている業態は、

- ・不規則な勤務（深夜勤務、交代勤務）
- ・それに付随する睡眠時間や食事時間の不規則さ

等が影響を及ぼしている可能性がある。

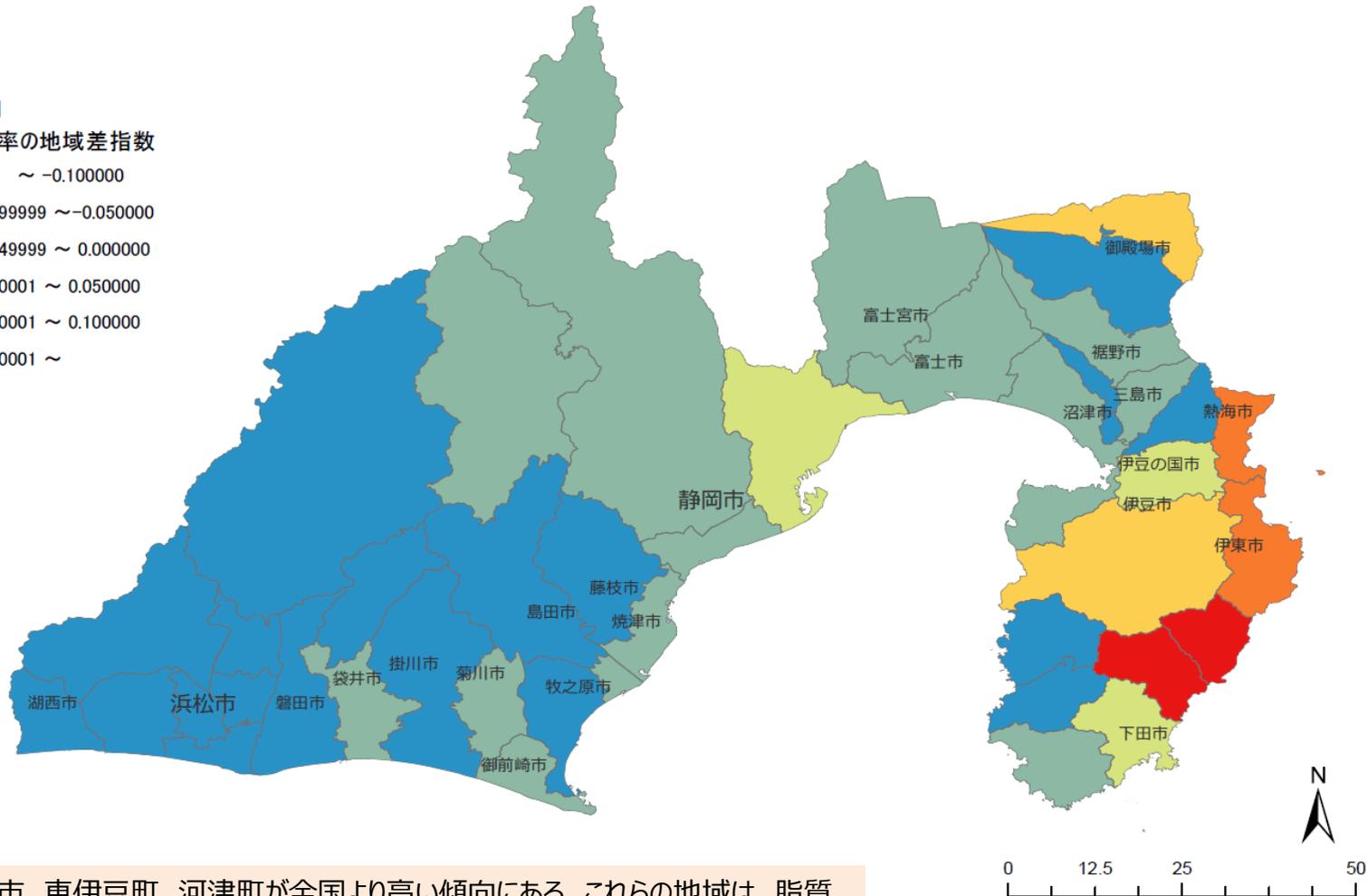
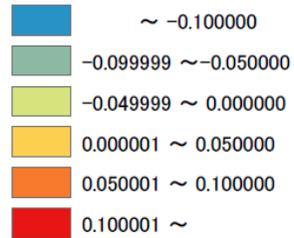
令和3年度 静岡県内

メタボリックシンドロームのリスク保有率の地域差指数

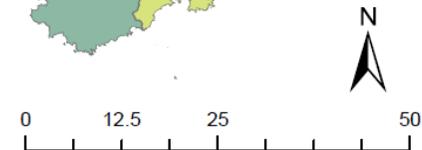
凡例

静岡県内

リスク保有率の地域差指数



・熱海市、伊東市、東伊豆町、河津町が全国より高い傾向にある。これらの地域は、脂質リスクと代謝リスクが同じく高い傾向にあり、これが要因と推察される。

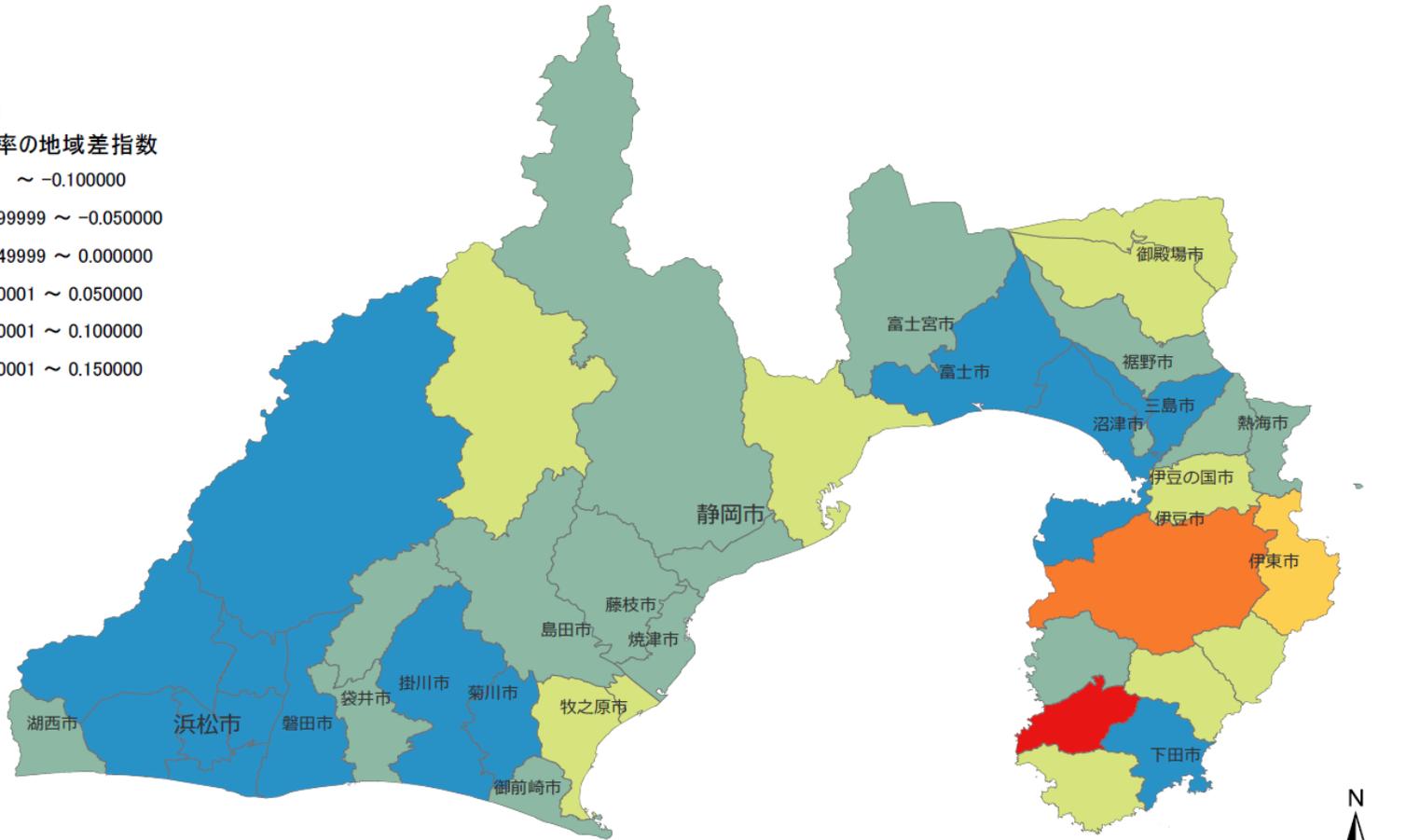
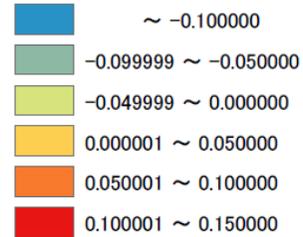


令和3年度 静岡県内 血圧のリスク保有率の地域差指数

凡例

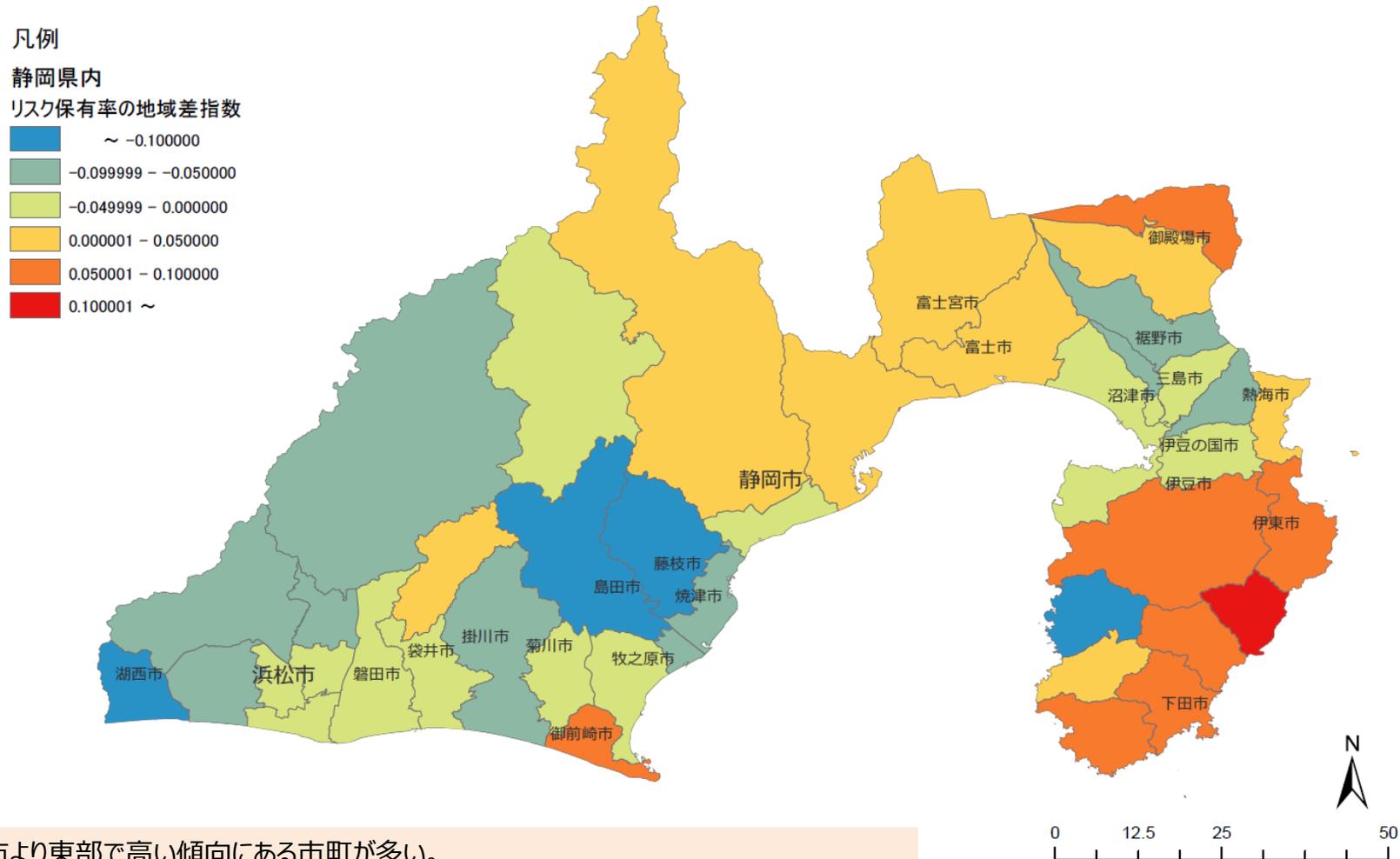
静岡県内

リスク保有率の地域差指数



・脂質や代謝リスクに比べると、低い傾向にある。

令和3年度 静岡県内 脂質のリスク保有率の地域差指数



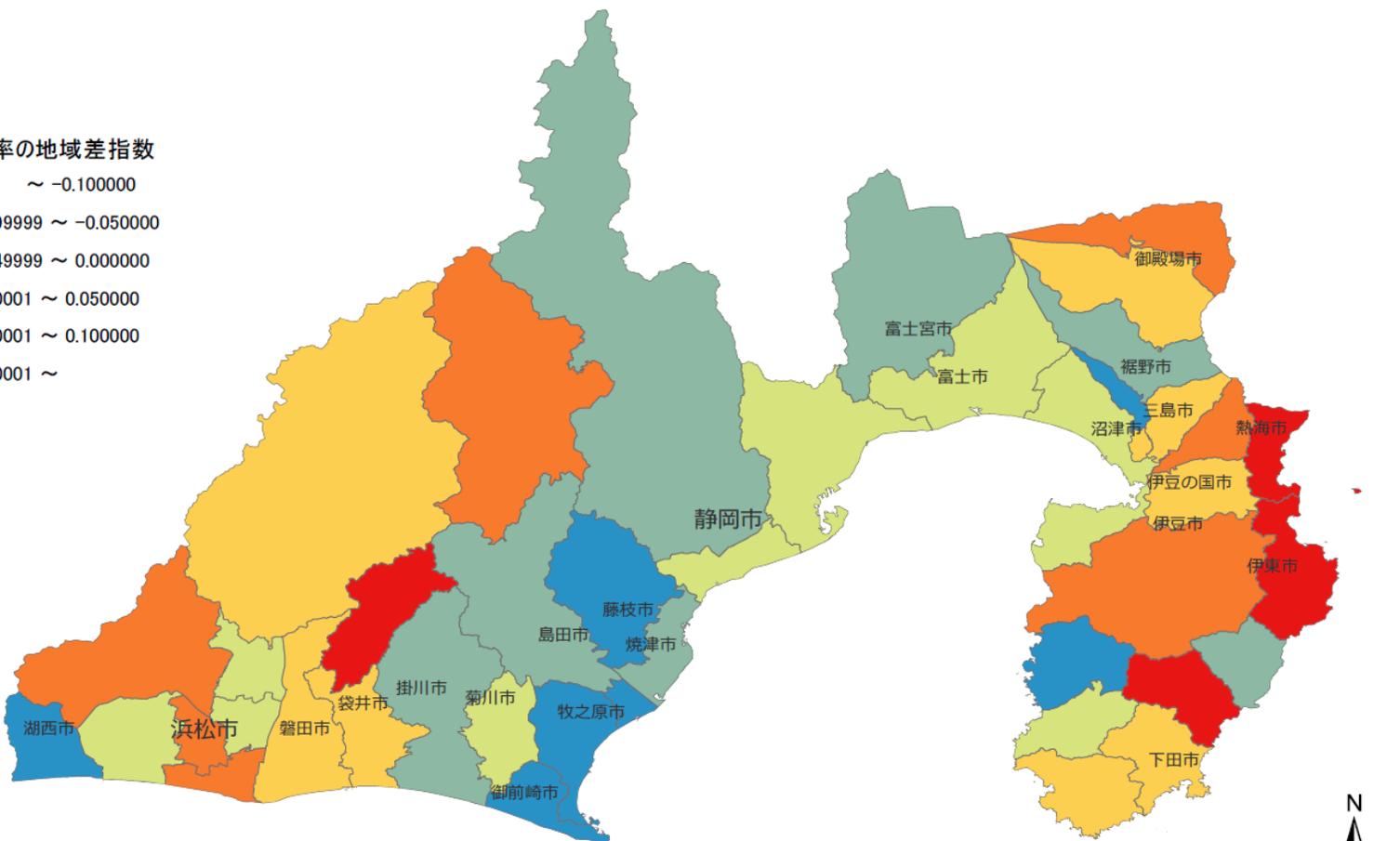
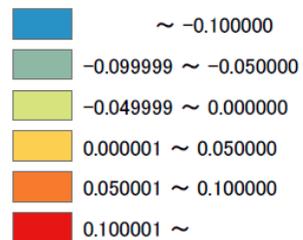
- ・静岡市より東部で高い傾向にある市町が多い。
- ・特に伊豆は高く、全国との乖離幅も広がっている。

令和3年度 静岡県内 代謝のリスク保有率の地域差指数

凡例

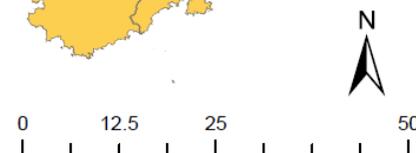
静岡県内

リスク保有率の地域差指数



・脂質リスクとの傾向とは少し異なり、静岡・富土地域は全国より低い傾向にあるが、県西部で高い傾向を示している市町が出てきている。

・伊豆は脂質リスクと同様に、高い傾向にある。

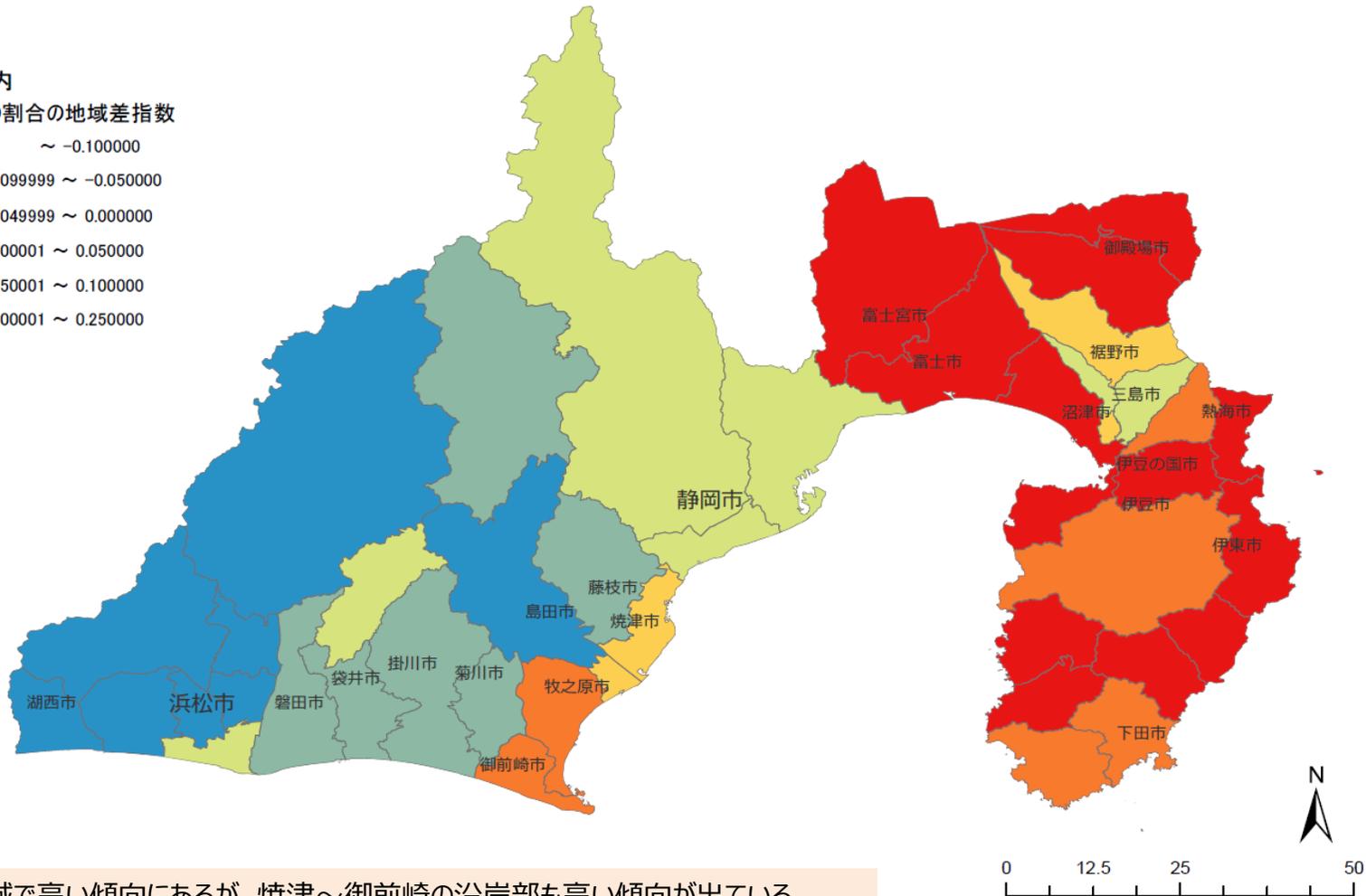
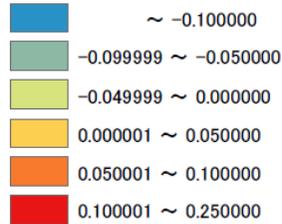


令和3年度 静岡県内 喫煙者の割合の地域差指数

凡例

静岡県内

喫煙者の割合の地域差指数



・富士より東の地域で高い傾向にあるが、焼津～御前崎の沿岸部も高い傾向が出ている。

健診結果及び問診結果の基準

項目	基準	項目	基準
①メタボリックシンドロームのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当 ・分母は集計対象データ総数 	⑩HDLコレステロールのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・HDLコレステロール40mg/dl未満 ・分母はHDLコレステロールの検査値のあるデータの総数
②メタボリックリスク予備群の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・③かつ④～⑥のうち1項目に該当 ・分母は集計対象データ総数 	⑪体重10kg以上増加者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「20歳の時の体重から10kg以上増加している」に「はい」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
③腹囲のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・内臓脂肪面積が100cm²以上 ・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上 ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数 	⑫運動習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している」、「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施」、「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い」に2問以上「いいえ」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
④血圧のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数 	⑬食事習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「人と比較して食べる速度が速い」に「速い」と回答、「就寝前の2時間以内に夕食をとること1が週に3回以上ある」に「はい」と回答、「朝食を抜くことが週に3回以上ある」に「はい」と回答、「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある」に「はい」と回答、これらのうち2項目以上に該当する者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑤脂質のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数 	⑭飲酒習慣要改善者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「毎日」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「2～3号未満」「3号以上」と回答、もしくは「お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度」に「時々」と回答し、かつ「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に「3合以上」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑥代謝のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数 	⑮睡眠で休養が取れていない者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「睡眠で休養が十分とれている」に「いいえ」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数
⑦喫煙者の割合	<ul style="list-style-type: none"> ・分子は「現在、たばこを習慣的に吸っている」に「はい」と回答した者の数 ・分母は上記に関する回答のあるデータの総数 		
⑧BMIのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・BMI25以上 ・分母はBMIの値のあるデータの総数 		
⑨中性脂肪のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> ・中性脂肪150mg/dl以上 ・分母は中性脂肪の検査値のあるデータの総数 		